

小須戸公民館報

町館日 戸民常 須公日 小須戸
 発行所 小中成 須央田 須公日
 発行日 毎月 印刷所 須昭堂
 印刷所



病人看護中に 見たまま、感じたまま

土屋マサさん
(七十一才)

去る五月には主人が足の故障から、二ヶ月余り病院のお世話になって参りました。病院の先生はじめ、看護婦さんの手厚い看護のおかげで、すっかり良くなりました。有り難く感謝の気持ちで帰ってまいりました。主人の看病で私も泊ったり通院したりで、どれほど難儀な用事があつた訳でもありませんが、家に帰って来ますと気が疲れてしょうか家事も手につかない時が度々ありました。病人が一人いるという事は、その状態と個々の家庭によって多少の差がありまして、大変な事とつくづく思いました。私にとりましては二ヶ月間の看護期間でありましたけれど、沢山の病室の中で様々な病人を見たり聞いたり、大勢の方に接して、よもやま話をしながら得る所が沢山ありました。

敬老の日特集 ～老人は、かく考える～

産婦人科の廊下では赤ちゃんの産声を聞いて、五十年前の自分を思い出したり、内科や外科の前では苦痛を訴えている人、看護婦さんに体を拭いてもらったり、着がえをさせて頂いて喜びを態度で表している寝たきり老人。又、廊下に這い出して世話をやかせている人。手当のいかにもむなしく永遠の旅路にたたれる人と、長い人生航路の縮図を目のあたりに見る様でございました。

今年も天候に恵まれ、平和の裡に敬老の日を迎えられる幸せをしみじみ感謝致しております。このたび町より招待いただき七五才以上の方々六四一名、そのうち、九〇才二名、八八才四名の方々へは県や町より夫々お祝いの品が贈られます。町民挙げて長寿をお祝い申し上げ、これからも心身共に健やかで、家庭や地域社会のために、お尽くしいたごますよう祈念申し上げます。

日本は僅か四、五十年のうちで世界一長寿国になりました。女八十一才、男七十五才の平均寿命は驚異的年令で、経済面では世界一金持国と不思議に一致してまいります。しかし、どちらも世界一という実感が湧いてこないのはなぜなのでしょう。幸福の第一条件に高令者は勿論ですが、調査によれば、六十代も五十代もやはり「健康」を第一の関心事としております。一方、どこの病院も患者でいっぱい、病人王国の感さえ致します。今後早急に治療を主とした現在の医療制度から病人を少なくする予防医療に病院もお医者さんも積極的に転換しなければならぬ時代になっていくと痛感致します。その切替を断行し実績を上げていく魚沼の大和町病院の好例を見習うべきではないでしょうか。



敬老月間を迎えて

本町五
菅森朝夫さん
(七十二才)

敬老の日の九月十五日は敬老行事の日であり、お年寄によせる「思いやり」のやさしい心と言葉「こそ何にもものに替えられない贈り物であり、それが三六十五日毎日であってほしい」と願って止みません。

お年寄を大切にすることは家族が信じ合っているうわしい家庭であり、お年寄をいたわり合う地域、町はずばらしい町といえましょう。

さあ住みよい活気に満ちた町づくりのために、弱い力でも助け合って少しでもお役に立つよう努力いたしましょう。

先日、入院患者の中に顔見知りの方がいらっしゃったので、その後どんなお具合かしらとお伺いしたら、同室に、主人が入院中、車椅子を押してあげた事のおばあちゃんがいまいた。そのおばあちゃん、体が不自由なうえ、老人ボケもありまして、私を見上げながら「ままだらしない手をつけていられるのです。近よって手を出したら何処からこんな力が出るのかと思う程、しっかりと握りしめていられます。言葉にならない声で「オーオー」とそれが精一杯の嬉しさの表現なのかしらと思つたら胸がいっぱいおりました。

人生八十年時代を迎えて、尚一層健康に注意して家族の負担にならない様に、自分で出来る範囲内で病人の話し相手になってあげたり、又作業の奉仕等は自分のボケ防止でもあり、ボランティア活動でもありますので一挙兩得の心構えで、これからの人生を楽しく過ごしたいと思っております。

或る社会学者が言っております。「現役を去って、楽隠居的な人の生活の仕方を表現した言葉に悠々自適というのがあります。それが、高令化時代ではこの言葉は死語になっていなければならない」と。

社会的な活動の一端を病人以外、すべての高令者も分担し合ひ、生き生きとしたお年寄りの生活が展開されることこそ、高令化社会にふさわしい生き方であると思ひます。

敬老の日の九月十五日は敬老行事の日であり、お年寄によせる「思いやり」のやさしい心と言葉「こそ何にもものに替えられない贈り物であり、それが三六十五日毎日であってほしい」と願って止みません。

お年寄を大切にすることは家族が信じ合っているうわしい家庭であり、お年寄をいたわり合う地域、町はずばらしい町といえましょう。



矢代田八
星野富作さん
(六十七才)

わが町の老人クラブ

老人福祉法が制定されて、早くも二十四年目を迎えました。当町老人クラブにおきましては、現在一千三百四十名余の会員が置森新会長のご指導のもとで各方面からの御支援とご協力を得ながら一致協力して、地域に根をおろした地道な諸活動に向け、鋭意努力してまいりました。

老人クラブ活動の特色を大別してみると、ひとつは高令者として地域社会に貢献している面そしていまひとつは、老人自身の幸せのための分野ということにならうかと思ひます。

その活動の拠点は、町老連主催(全会員対象)のもとで行なわれるものと、各地区(町部、新保等全部で五地区)独自の企画でやるもの、そして地区内の各単位クラブがやるものに分かれます。

このようにそれぞれの活動の目的、規模で組織運営されている老人クラブは、国や地方自治体、そして地域社会、家庭の協力等がなくては成り立っていないのであります。しかし何と云っても我々老人自身の努力と自覚がなければ満足した活動はできないものと思ひます。従いまして、その意味でもやはり幾かの難路もあるわけで、ひとつは、クラブ加入適今年(満六十才)以上の方の加入率が、まだ低いという点です。これには色々な理由があります。たとえば老人クラブの理解が不足しているために入らないと思われれる方に対する開拓が依然として課題である反面、その止むを得ない事情として、家庭的、あるいは職業的な制約などがあげられるようでもあります。

ふんせくと散歩 (5)

万年青作り新潟県最古参 板垣 謹吾さん



万年青と書いて、「おも」と読む。ゆり科の常緑多年草で主に観賞用に用いられる。全国的に愛好者も多く、県大会、全国大会も開催され、万年青作りの技術向上も盛んに行なわれている。その万年青作りの第一人者、板垣謹吾さん(諏訪町二、八十才)は、現在、新潟県において最も長く万年青を作つてこられた最古参の人である。

「万年青を作り始めて六十五年目になりましたね。きっかけは親父が持ったもので、俺も作りたくなったからね。」

続けてこられた魅力は、「年によって葉が出る模様(白いすじや斑点)の出来、不出来があるの楽しいね。でもやっぱり好きです魅力なんどね。」

第13回町民展作品募集

こすどっ子写真展作品募集

～あなたの作品をお待ちしています～

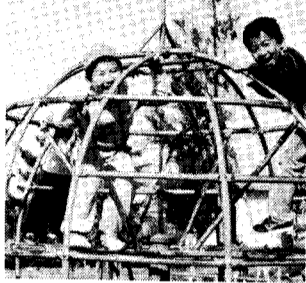
町民展

今年で十三回を迎えます町民展の作品を募集します。皆さん一人ひとりの参加で作る町民展です。町民各位の出品をお待ちしています。

会期 十一月一日(日)より三日(文化の日)までの三日間
会場 中央公民館三階ホール
応募資格 小須戸町在住もしくは勤務する者(但し高校生以上)
出品作品はすべて無審査のうえ展示します。
詳細はチラシに記載します。

こすどっ子写真展

「現代の子どもの遊びを知らない」とよく耳にしますが、本当にそうでしょうか。昔も今も子ども達は元気に遊んでいるのです。子ども達が何かに夢中になっている姿は光り輝いて見えます。「こすどっ子写真展」は、その姿を「遊び」に求めました。あなたの目から見た自由な表現力でとらえた写真を募集します。



応募上の注意
募集テーマ 遊び
作品サイズ 白黒かカラーのサイズ版(スライド、組写真を除く)
申込み 中央公民館
郵送の場合 小須戸町大字小須戸一七番地 こすどっ子写真展事務局

催し物

分館だより

定期映写会

小学生のお子さんをお持ちの父母の方を中心とした映写会を行いますので多数ご来場下さい。
日時 九月二十一日(月)
午後八時より

会場 中央公民館二階学習室
上映映画 子どもたちへ

山の手運動会のご案内

本年度は大改装になった新グラウンドでの、第三十五回記念大会です。ご近所おさそい合わせの上、多数ご参加下さい。
期日 九月二十七日(日)
会場 矢代田小グラウンド
開会式 午前九時より

第六回小須戸分館大運動会

子ども達からお年寄りまで気軽にできる大会です。さあ皆な元気にあつまれ。
日時 十月十一日(日)
午前九時集合
会場 小須戸町ふれあいゲート



柔剣道振興会だより

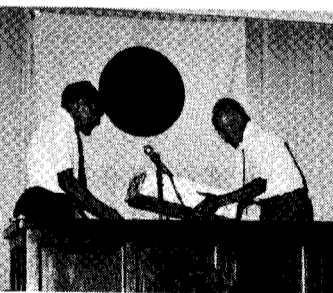
剣道昇段おめでとう

五段 村井 豊(本町二)
二段 星田祐樹(矢代田六)
田沢義則(矢代田七)
初段 山本実、風間洋行、田沢英樹、千秋誠、泉田渉、坂井直樹、今井隼人、川瀬一人、市川和彦、東樹賢治、渡辺正彦、武田峰和、坂井雄一郎、高橋利光、高山信也、田中正信、斎藤有貴子、城丸重紀子、城丸由紀子、斎藤純、横木亜紀子、伊丹洋子、風間亮太郎、加藤繁(以上中学生)

三浦前老連会長を表彰

小須戸町老人クラブ連合会

今年四月の老連総会を最後に小須戸町老人クラブ連合会会長を勇退された三浦保さん(天ヶ沢一)に、老連運営委員会の席上、町老連より感謝の意と老連発展の為に尽くされた功績に対し、賞状と記念品が送られました。おめでとうございました。



ご応募下さい
お待ちしております。

ボール場(旧小学校プール跡地)参加費 無料
入賞 参加者全員に参加賞、入賞者には記念品
参加資格 小須戸分館地区在住者
申込み 中央公民館
※雨天の場合十八日(日)に順延
(三三二二三三四)

老人クラブ社会奉仕の日

九月二十日(日)は全国一斉奉仕活動日として各地域毎に町の美化運動を展開します。朝九時から十一時までで、事故防止をかねて、黄色の旗で「老人ク

小須戸町史を読む会

日時 九月二十五日(金)
午後七時三十分
会場 中央公民館三階ホール
講師 木村宗文先生

民謡連盟発表会

日時 十月十六日(金)
午後七時より午後九時
会場 中央公民館三階ホール
講師 木村宗文先生

新津南高開放講座

講師 佐藤賢次先生(加茂晩星高) 木村宗史先生(新津南高)
日時 十月十八日(日)
午前十一時
会場 矢代田小体育館
主催 民謡連盟

短歌

八月例会作品

小須戸町俳句同好会

重石を足して一夜の茄子漬ける
朝顔やもうあそいの声きこゆ
鍋の錆さつと落として泥踏汁
さりさりと山の崩るるかき氷
茄子漬の真水くぐりて来しばかり
動みて角田撫肩夕焼くる
主婦の座に身ごと染まりし梅漬ける
眠り草水やる如に閉ぢにけり
父の忌やにがみの多き胡瓜もみ
ひらがなの母の手帖よ土用干し
引き際に豆の葉洗う梅雨出水
夕陽の燃え尽くしたるゴルフ場
夕焼の沖に波立つ潮境
てかてかと雨後の陽窓や青葡萄
竹煮草貨車の動かね引込線
伊夜日子の楯に広がる雨雲は疾風のごとく村
つつみゆく
もみじ葉の裏に付きたる空蟬のぬし待つがごと
とじつと動かず
ひかげれば白はふくよか紫は風を呼ぶ色鉄線
加藤 茂

短歌クラブ作品

細き身にあふるるとき卵抱く柳葉魚を焼き
て血に並べり
あまえつ、我によりそう幼子のはおやわらか
に月の照らせり
大らかに羽根広げたり鷺草を高く揚ぐ飛べ
と如くに
食絶えて臥して久しき老い叔母のやせたる背
なほ骨のみかたし
早朝のゲートボールの合間みて嬉む日は昇
り来て
野菜売りみどりの中にほうすずの赤きも見え
て盆の市くる
村山 文子
砂井 政子
野保 好雪
吉田 久次
牧野 信雄
長井利恵子

川柳教室作品

題「約束」

土曜日の家庭サービスドライブイン
メニューより値段で決める家族連れ
家族してたまの夕食思いの場
外食に頼ったばかりに成人病
洋食に戸惑いフオーク握る汗
みそ汁がサービスお店がよく流行り
誕生日家族ぐるみでレストラン
食堂で上司のおごり無理に食べ
帰省の子食米なしの母の味
夕食は外ですますとデザートは娘
お喋りのつづきに食堂利用され
逢引のように夫婦でレストラン
減塩のパパ食堂で三杯目
外食でおぼえた新種の洋野菜
中流の意識で覗くメニュー表
単身赴任妻外食でよく肥り
すき嫌い言わぬと約し外食デー
米山 二
志枝 一
信子 二
幸世 三
キヨノ 四
タネ 五
春江 六
良平 七
まさや 八
常信 九
源吾 十
清作 十一
武雄 十二